

# 研究名： PFAPA(周期性発熱症)症候群における口蓋扁桃の解析

## 1．研究の目的

扁桃組織を解析することによって、未解明である病因・病態や手術療法の有効性について調べます。

## 2．研究の方法

研究対象：2015年5月～2024年5月の期間に、当センターにてPFAPA症候群（患者コントロール群として扁桃生理肥大、反復性扁桃炎）と診断され扁桃摘出術を施行した方

研究期間：倫理審査委員会承認後～ 2025年5月

研究方法：PFAPA症候群に対して、両側口蓋扁桃摘出術を施行した症例の扁桃組織と、手術前と発熱時に採取した血液、扁桃細菌培養検査の一部をサンプルとして、mRNAの網羅的な発現解析、invitro刺激試験、フローサイトメトリー、サイトカインアレイ、ELISA、細菌メタゲノム解析、病理組織学的検討などを行います。病院で行われた細菌培養検査結果も参照して解析に用います。また、コントロール群として、習慣性扁桃炎と睡眠時無呼吸症候群の症例を対象として、比較検討を行います。なお、遺伝子配列解析は行いません。

## 3．研究に用いる情報の種類

病歴、扁桃組織、血液、細菌培養検査結果等

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

## 4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。その際に、研究に参加した個人を同定できるような個人情報は一切公表しません。

## 5．研究実施機関

国立成育医療研究センター免疫アレルギー感染研究部（研究責任者：原真理子）、札幌医科大学医学部病理学第一講座（研究責任者：久保輝文）、東京大学医科学研究所臨床ゲノム腫瘍分野、東京大学医科学研究所/健康医療インテリジェンス分野（研究責任者：古川洋一）

## 6 . お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2025年9月末までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。期日を過ぎた後でも同意を撤回することができますが、データを解析・論文公開した後には削除が不可能となる場合があります。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 免疫アレルギー感染研究部 原真理子  
住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1  
電話：03-3416-0181（内線：4970）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 免疫アレルギー感染研究部 原真理子